

令和7年度
糖尿病と歯周病を支える医科歯科の協働
— 相互作用の理解から連携と算定まで —
3月20日(金・祝) 9:30~12:30

【受講対象】

香川県歯科医師会会員とそのスタッフおよび医師、看護師、
理学療法士、薬剤師、健康運動療法士、保健師、管理栄養士、
栄養士、事務、その他

【プログラム】

司会：齋藤謙治郎(香川県歯科医師会 医療管理部 理事)
座長：小川 尊明(香川県歯科医師会 医療管理部)

9:30 ~ 9:40 開会挨拶

香川県歯科医師会 会 長 豊嶋 健治
香川県医師会 副会長 谷本 雅人

9:40~11:10 講演 1

「一緒にやろう! ダイアベティス医科歯科連携」

講師：村尾 孝児 先生
(香川大学医学部 内分泌代謝・先端医療・
臨床検査医学講座 教授)

11:10~11:20 休憩

11:20~12:20 講演 2

「糖尿病患者を含む歯科治療の進め方と医科連携
— 治療プロセスから保険算定まで —」

講師：阿部 健一郎 先生
(香川県歯科医師会 学術部 理事)

12:20~12:25 質疑応答

12:25~12:30 閉会挨拶

香川県歯科医師会 副会長 蓮井 義則

令和7年度

糖尿病と歯周病を支える 医科歯科の協働

— 相互作用の理解から連携と算定まで —

日 時：令和8年 3月20日(金・祝)
午前9時30分より

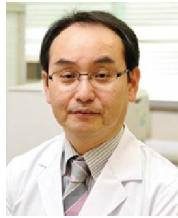
会 場：香川県歯科医療専門学校 7階
8020ホール



▲申込フォーム
3月12日(木) 締切

講演中の録画・拡散等や無断使用についてはお断りします

主催 公益社団法人 香川県歯科医師会



一緒にやろう！ ダイアベティス医科歯科連携

香川大学医学部 内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学講座 教授 **村尾 孝児** 先生

本講演では、歯周病と糖尿病の双方向性の病態に着目し、医科歯科連携の立場から多職種連携の重要性について解説します。歯周病は口腔内細菌によって引き起こされる慢性炎症性疾患であり、歯周組織の破壊にとどまらず、全身の炎症状態を惹起することが明らかとなっています。特に歯周病に伴う炎症性サイトカインの産生はインスリン抵抗性を増大させ、糖尿病の発症や血糖コントロール悪化に深く関与します。疫学研究やメタアナリシスにおいても、歯周病治療によりHbA1cが有意に改善することが報告されており、糖尿病診療ガイドラインでは歯周治療が推奨されています。本講演では、糖尿病患者における歯周病の特徴や進行機序を整理するとともに、医科から歯科への情報提供、継続的な口腔管理の意義について紹介します。歯周病治療は口腔の健康維持にとどまらず、糖尿病の重症化予防に寄与する重要な介入であり、歯科が担う役割は今後さらに重要になると考えられます。

【学歴・学位】

1990年 3月 香川医科大学医学部卒業
1994年 3月 香川医科大学大学院医学研究科（生体制御系腫瘍制御部門）修了

【免許・資格・学会活動】

日本内科学会：認定医、指導医、評議員、四国支部幹事、香川県内科チアマン
日本内分泌学会：内分泌代謝科専門医、指導医、評議員、四国支部支部長
日本糖尿病学会：糖尿病専門医、指導医、評議員、中四国支部幹事
日本糖尿病協会：JADEC香川（香川県糖尿病協会）会長
日本内分泌学会・日本糖尿病学会：内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医

【職歴】

1994年 4月 香川医科大学医学部附属病院 医員
1995年 2月 カルガリー大学（カナダ）研究員（c/o Dr. NCW Wong）
1995年 12月 カリフォルニア大学サンディエゴ校研究員（c/o Dr. D.Steinberg）
1997年 1月 香川医科大学医学部附属病院助手
2001年 6-9月 カルガリー大学（カナダ）文部科学省短期在外研究員
2002年 9-10月 ローザンヌ大学（スイス）文部科学省短期在外研究員
2005年 6月 香川大学医学部附属病院講師
2011年 2月 香川大学医学部 内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学講座 教授
香川大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 診療科長
香川大学医学部附属病院 糖尿病センター センター長
2012年 4月 香川大学医学部 副医学部長（併任）
（2012-2013年入試担当、2014-2015年研究・大学院担当）
2016年 4月 香川大学国際希少糖教育研究機構 臨床研究部門 教授（併任）



糖尿病患者を含む 歯科治療の進め方と医科連携 — 治療プロセスから保険算定まで —

香川県歯科医師会 学術部 理事 **阿部 健一郎** 先生

糖尿病と歯周病は相互に影響し合う疾患であり、歯周治療が血糖コントロールの改善に寄与することは知られている。しかし、実際の診療現場では、糖尿病患者に対する歯周治療をどのように進め、どの段階で医科と連携し、各職種がどのように関与することでチーム医療として機能させるのかについて、具体的なイメージを持っていないケースも少なくない。

本講演では、「糖尿病患者を含む歯周治療における治療の流れと医科連携」をテーマに、歯周治療の流れを整理し、医科との情報共有が重要となるポイントを具体的に解説する。あわせて、医師、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士等各専門性を生かし、糖尿病患者の歯周治療をチームで支える連携の在り方を示す。

さらに、糖尿病患者に対する歯周治療に関連する保険点数の算定について、算定の考え方や留意点、臨床で迷いやすいポイントを中心に解説し、医科歯科連携を特別な取り組みではなく、日常診療の延長線上で無理なく実践するための視点を共有することを目的とする。

【略歴】

2008年 大阪歯科大学卒業
2009年 牧草歯科医院 森田歯科医院勤務 大阪歯科大学附属病院 病院医員
2010年 牧草歯科医院勤務 大阪歯科大学附属病院 非常勤研修医
2011年 牧草歯科医院 しおみ歯科クリニック勤務 大阪歯科大学附属病院 非常勤研修医
2014年 阿部歯科医院勤務

【所属】

日本歯周病学会 専門医
日本臨床歯周病学会
日本口腔インプラント学会
日本糖尿病協会
JIPI (Japanese Institute of Periodontology & Implantology)

【書籍】

◇日本の新分類にも対応！「歯周病の新分類」読本
— その意思決定法、わからないことをわかりやすく教えます！（共著：クインテッセンス出版）
◇新人・復職DHのための丸わかり歯周治療（共著：クインテッセンス出版）
◇信頼がうまれる患者対応の技術 — 歯科医院のための医療面接スタートガイド（共著：クインテッセンス出版）